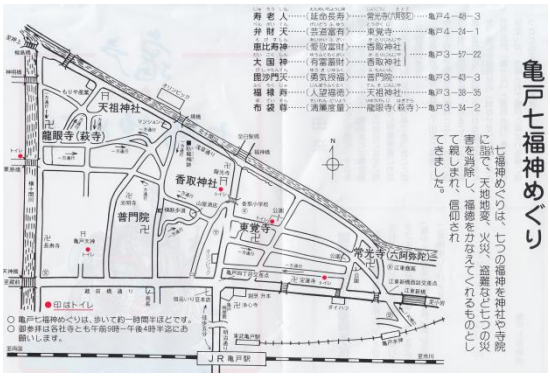
2020 年開運
新年亀戸七福神めぐり

（東京都新宿区）

令和になっての初の七福神めぐりを亀戸でしました。七福神めぐりは、新年開運の縁起を念じて多数の会員の参加がありました。起点と終点が亀戸駅で、徒歩約 1 万歩の行程でした。
終了後の恒例行事は有志による新年会で、亀戸駅近くで賑やかに寿ぎました。



日　時：2020 年 1 月 7 日（火曜日）日帰り
時　間：亀戸駅起点終点 13 時 05 分～15 時 30 分
参加費：500 円（資料代、貼るカイロ）
参加者：27 名（内 1 名非会員）
リーダ：

順　路　亀戸駅→亀戸水神社→常光寺（寿老人）→東覚寺（弁財天）→香取神社（恵比寿神）（大国神）→普門院（毘沙門天）→天祖神社（福禄寿）→龍眼寺（布袋尊）→亀戸天神→梅屋敷→亀戸駅

亀戸　地名の由来

今回の起点終点は JR 亀戸駅で、多くの商店が並びスカイツリーがそそり立つのを間近に仰ぎ見る繁華街です。横丁には昔ながらの飲食店が軒を連ね、レトロ感いっぱいの雰囲気です。もとは亀島という、文字通りの亀に似た島だったそうです。その後の土砂の堆積で地続きになり今に至っているそうです。北には向島、南に大島、西に柳島の地名が現在でもあり、この付近に島が並んでいたのがしのばれます。

水神社　水害除け

16 世紀戦国時代の頃、新田開発がありました。水害除けのために堤防を築き、その上に鎮斎したと伝えられています。亀戸あさくさ古道の分岐点にもなっています。

常光寺（寿老人）延命長寿

山号は西帰山です。「江戸六阿弥陀仏」の 6 番目の霊場で、江戸からの最初の巡礼地として栄えました。

東覚寺（弁財天）芸道富有

真言宗智山派寺院です。16 世紀半ばの創建だそうです。大日如来が御本尊で華やかで大きなお寺でした。

香取神社（恵比寿神）愛敬富財、（大国神）有富蓄財

7 世紀の天智天皇の時代の創建で、江戸古跡十二社の一つです。中臣鎌足が東国下向の折に、香取大神を勧請し太刀一振りを納めて旅の無事を祈ったそうです。剣豪に崇敬され、武道や広くスポーツの振興神として参拝されています。

境内には、この地の名産亀戸大根の石のモニュメントがありました。

普門院（毘沙門天）勇気授福

江戸時代初期に、当地へ移転してきました。その折、梵鐘を川に落としたのでここを鐘ヶ淵

と呼ぶ伝承が生まれました。
伊藤左千夫の墓や大島伯鶴の歌碑などもありました。